

2024年(令和6年)

2月15日(木)

河北新報社

〒980-8660  
仙台市青葉区五橋1-2-28  
[www.kahoku.co.jp](http://www.kahoku.co.jp)

「東」は、未来

総合案内 022(211)1111  
読者センター(211)1447ご購読申し込みは  
オオク ミナヨム  
0120-09-3746

# 河北新報

## 再生へ 心ひとつに

### 東日本大震災関連記事

#### 古里喪失訴訟 1人当たりの賠償増額 24

福島県川俣町山木屋地区の住民らが東京電力に計約31億円の損害賠償を求めた集団訴訟の控訴審判決で、仙台高裁は一审判決より多い計約11億円の支払いを命じた。

#### 社説 プルサーマル計画／ 女川原発 東北電は説明必要 9

#### H3ロケット 石巻の企業 研磨で貢献 4

17日に打ち上げられる国産新型のH3ロケット2号機は、東北の企業や研究機関も開発に携わった。エンジン関係の部品加工では、石巻市の企業が研磨技術で貢献した。



## 17日に打ち上げ予定



エヌエス機器の作業現場。従業員が航空機部品などの研磨を手作業で担当する

### 石巻・エヌエス機器

JAXAは当初、2号機を15日に打ち上げる予定だったが、悪天候が予想されるとして延期した。

エヌエス機器が携わったのは1段目のエンジン。駆動源となるターボポンプ関係の部品で、研磨することで燃料の流れをスムーズにする。部品といつても一つ数kgから60kgに及ぶ大型品。不要なバリの削り残しも、削り過ぎてもいけない、精巧さが求められる。

2017年ごろ、前身のH2Aロケットのターボポンプの部品を請け負い始めた。IHIキャスティングス（IHI、東京）の下で航空機部品の加工を始め、業務を広げた。担当者は相馬市にあるICOの工場に連日のように通い、技術とノウハウを高めた。



阿部秀敏社長

# H3精密研磨で貢献

宇宙航空研究開発機構（JAXA）は14日、国産新型のH3ロケット2号機を17日に種子島宇宙センター（鹿児島県）から打ち上げると発表した。2号機の開発には東北の企業や研究機関も携わっており、エンジン関係の部品13種の加工は精密研磨加工のエヌエス機器（石巻市）が担つた。阿部秀敏社長（64）は「小さな会社でも大きなプロジェクトに携われる。努力が実る幸せを感じる」と喜びをかみしめる。

### 1段目エンジン 部品13種加工

## 「努力実る幸せ感じる」

JAXAなどが開発したH3は、現在の主力H2Aの後継機となる2段式液体燃料ロケット。打ち上げは昨年3月に1号機が失敗して以来、約1年ぶり。角田市のJAXA角田宇宙センターが2段目のエンジンなどの開発に関わる。

う研究し、けん引役となつた製造部長の高橋盛一さん（43）と、現在の担当リーダー佐々木広貴さん（44）は「ロケットの部品を手がける。そのモチベーションが全体の技術を底上げした」と振り返る。

エヌエス機器は、自動車関連の部品製造会社として阿部社長が1986年に創業。バルブ崩壊の苦境を経て2000年代初めに研磨加工に踏み出した。約20年にわたり磨き上げた技術が宇宙開発に活用されることに、阿部社長は「社員の一層の誇りになる」と語り、打ち上げの成功を祈った。

JAXAなどが開発したH3は、現在の主力H2Aの後継機となる2段式液体燃料ロケット。打ち上げは昨年3月に1号機が失敗して以来、約1年ぶり。角田市のJAXA角田宇宙センターが2段目のエンジンなどの開発に関わる。